

第 10 森林の整備その他林業の振興との関連に関する現状

1 林業の概況

本市の森林面積は 1,479ha でありほとんどが民有林で本市面積の 8.8% を占め、東部の一部を除き、大部分が平地林である。針広別には、針葉樹林面積が 476ha になる。広葉樹林面積は 930ha であり、雑木林が多い。なお人工林率は 17% で県平均を大幅に下廻る。

また、本市は長い間農業の街として、40 年代からは農工商調和のとれた街として発展してきたため、林業は他産業と比較して就業人口、生産額等は極めて低位である。

森林組合等は未組織であり、地域林業振興を図るための積極的な取組は特別なされていない。

2 農業振興と林業振興との関連に関する現状と問題点

森林は自然環境のほかの保健保養、国土保全、水資源の涵養等その保有する多面的機能の重要性について幅広く認識されるようになった。一方農業についても安全で豊かな食生活の確保、農業のもつ教育的機能について高い認識と理解が得られるようになった。

本市においても森林を有効に利用し、農業所得の向上に結びつけなければならないが、森林面積が少ないなど、林業からの収入は期待できない。

3 林業の振興に関する諸計画の概要

本市の森林は、産業としての林業を成立し得る機能ではなく、自然環境、保健保養、国土保全、水資源の涵養等間接的効果としての機能を有している。したがって、平地林の保全及び活用、保安林の維持を図るとともに、自然的景観の保全に配慮する。

第 1 1 地域の諸問題の解決を図るための各種の協定、申合せ等の実施状況

1 協定制度の実施状況

なし

2 交換分合

(1) 実施状況

なし

(2) 今後の見通し

なし